

男子四中女子七中がV

中学バスケット新人戦

令和2年度習志野市中学
校新人体育大会・バスケットボールの部が10月11日から18日まで、袖ヶ浦体育館
ほかで開かれた。
トーナメント戦の結果



男子優勝の四中



女子優勝の七中

男子は四中、女子は七中が優勝した。
男子決勝 一中―四中
戦いは延長戦へ

男子決勝戦は四中と一中が対戦。両チームとも高さトスピードでの勝負となった。

第1ピリオド、四中は貫のフリースローで先制点。その後も四中はアウトサイド選手のドライブや鈴木がゴール下のシュートを確実に決めていく。一中はなかなか点数に結びつかなかったが、河合が果敢に攻め、流れを作りリードする。

第2ピリオド、互いにファウルがかさみ、なかなかシュートが決まらず、苦しい戦い。四中がパス展開でチャンスを狙うものの、一中のディフェンスを思うようにかわせず、シュートまでいけない時間が続く。

一中は藤吉がリバウンドを、河合がディフェンスをがんばり、四中の追加点を許さず、30―27で一中リードのまま前半を終える。

後半、互いに主要メンバーの個人ファウルがかさむが、他のメンバーががんばり、激しい攻防となった。四中は島貫が3点シュートを狙うもののなかなか決まらず、得点を伸ばせない時間が続く。残り3分で一中がタイムアウト。再開後、ダブルチームをしかけ、相手のオフenseの足を止め、再び流れをつかみ始めた。

第4ピリオド、四中は久田がリバウンドに飛び込み、果敢にボールを奪いに行く。島貫、鈴木が確実に点数を増やすが、一中も河合が食らいつきリードを保つ。残り45秒、34秒で四中が連続でタイムアウト。一中オフェンスの足を止めるほどのディフェンスで自分たちのオフェンスへとつなげる。残り20秒ほどで、四中は鈴木が5ファウルで退場。残り数秒のところで四中の仲業真が3点シュートを決め、同点で延長戦へ。

延長戦、一中は河合が5ファウルで退場。代わりに入った石川が得点。四中は島貫、齋藤がシュートを決め、残り27秒で逆転。一中がタイムアウトを取り、フロンコートから再開するが、得点ならず。四中が逃げ切り、試合終了となった。

女子決勝 一中―七中
七中攻守で勝る

女子決勝戦は昨年の1年生大会と同様、七中と二中との対戦となった。

第1ピリオド、互いに激しいディフェンスでなかなか得点を挙げられないが、一中が保川のフリースローで先制点。これに続き熊倉のステップインシュートと小林のドライブインシュートが決まり、流れは一中に傾きかける。しかし、七中も元橋の3点シュートが決まり、澤野を中心にボールサイドカットとベリースラインドライブを繰り返して、一中のゴールを攻め立てる。スピードのある七中のガード陣に対し、一中はファウルが続く。保川は残り17秒というところで3つ目の個人ファウル。七中3点リードで終える。

第2ピリオド、一中は保川を一木に替えてゲームスタート。開始早々、一木がフリースローを決め、一中が1点差に迫るが、すぐ

に七中は内山がドライブからステップインシュートを決め、再び3点差になったところで一中はタイムアウト。巻き返したい一中だが、パスミスや小林と一木のスクリーンからの2対2の速攻で田口が得点するなど、バランスよく得点を重ねる。一中は熊倉のアウトサイドシュートで点数を重ねるが、26―15とリードを広げられ、前半を終了。

後半、一中は保川をスタートから起用。スペースを広げ使い、小林と保川のスクリーンプレーや熊倉のアウトサイドシュートで得点を重ねたいところだが、七中のディフェンスを前になかなかシュートが決まらなかった。目標が達成できたので、新しい目標を立て、選手一人ひとりがより成長できるように全力を注いで

は小林、熊倉がドライブで得点を重ねるが七中も田口が2本の3点シュートを決めるなど、点差はなかなか埋まらない。残り50秒で一中は後半2回目のタイムアウト。この後、一中は相手のミスを誘いスコアするが試合はこのままタイムアップ。七中が県新人戦への挑戦権を手にした。

(戦評は習志野市小中学校校体育連盟バスケットボール専門部)

男子四中の茅野恵陸キャプテンは「新チームになった8月から県大会出場を目標にチームプレーを意識して練習してきた。今大会の試合ではなかなか上手いかわず、点につながる時間が多かった。決勝では延長戦の末に優勝できてよかった。目標が達成できたので、新しい目標を立て、選手一人ひとりがより成長できるように全力を注いで

阿武松部屋力士11月場所成績表

| 幕内 | 東2枚目 | ●阿武咲 | 7勝8敗 |
|-----|-------|-------|------|
| 幕下 | 東71枚目 | ○若山 | 4勝3敗 |
| | 東22枚目 | ○元龜 | 4勝3敗 |
| | 東23枚目 | ○勇磨 | 5勝2敗 |
| | 西45枚目 | ○慶天海 | 4勝3敗 |
| | 西47枚目 | ○天王山 | 5勝2敗 |
| 三段目 | 西58枚目 | ○土佐緑 | 4勝3敗 |
| | 西73枚目 | ○二本柳 | 5勝2敗 |
| | 東44枚目 | ○天津 | 4勝3敗 |
| | 西56枚目 | ○益湊 | 5勝2敗 |
| 序二段 | 東66枚目 | ○荒雄山 | 4勝3敗 |
| | 西68枚目 | ○土佐栄山 | 5勝2敗 |
| | 東74枚目 | ●稲葉 | 3勝4敗 |
| | 西54枚目 | ○禎ノ花 | 4勝3敗 |
| 序二段 | 東55枚目 | ○秋良 | 5勝2敗 |
| | 西70枚目 | ●逢松龍 | 2勝5敗 |

13名が勝ち越し
大相撲11月場所
大相撲11月場所は11月22日、千秋楽を迎えた。

阿武松部屋の幕内力士・阿武咲関は上位との取組みもあり、初日から4連敗と苦しい戦いが続いた。後半からは勝ち星を重ねたものの、7勝となった。幕下勢は勇磨、天王山が5勝。新幕下の土佐緑のほか幕下勢はそろって勝ち越した。三段目では二本柳、益湊、土佐栄山が好調。阿武松部屋全体では13力士が勝ち越しを決めた。初場所は来年1月10日から両国・国技館で開催。

男子部

| | | | | |
|---|---|----|----|----|
| 四 | 中 | 47 | 10 | 13 |
| 一 | 中 | 60 | 48 | 52 |
| 三 | 中 | 84 | 43 | 36 |
| 四 | 中 | 71 | 41 | 7 |
| 五 | 中 | 60 | 52 | 二 |
| 一 | 中 | 49 | 13 | 7 |
| 三 | 中 | 11 | 15 | 6 |
| 四 | 中 | 10 | 8 | 7 |
| 一 | 中 | 17 | 17 | 3 |
| 三 | 中 | 21 | 14 | 5 |
| 四 | 中 | 17 | 16 | 5 |
| 一 | 中 | 28 | 二 | 中 |

女子部

| | | | | |
|---|---|----|----|----|
| 四 | 中 | 62 | 12 | 10 |
| 一 | 中 | 16 | 24 | 10 |
| 三 | 中 | 4 | 4 | 13 |
| 四 | 中 | 11 | 12 | 15 |
| 五 | 中 | 11 | 11 | 19 |
| 一 | 中 | 4 | 2 | 60 |
| 三 | 中 | 20 | 13 | 15 |
| 四 | 中 | 11 | 15 | 19 |
| 一 | 中 | 12 | 11 | 19 |
| 三 | 中 | 15 | 11 | 19 |
| 四 | 中 | 12 | 11 | 19 |
| 一 | 中 | 15 | 11 | 19 |

女子七中は初戦では中原(柏)を108―35、2回戦では磯辺中(千葉)を54―33で破り、準々決勝戦に進出。準々決勝戦で翔凛中(君津)に35―74で敗れ、ベスト8となった。

女子七中が初戦では中原(柏)を108―35、2回戦では磯辺中(千葉)を54―33で破り、準々決勝戦に進出。準々決勝戦で翔凛中(君津)に35―74で敗れ、ベスト8となった。

